

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2000023211 A

(43) Date of publication of application: 21.01.00

(51) Int. Cl H04Q 3/58
 H04M 1/00
 H04M 1/274
 H04M 3/42
 H04Q 7/22
 H04Q 7/24
 H04Q 7/26
 H04Q 7/30

(21) Application number: 10183933
(22) Date of filing: 30.06.98

(71) Applicant: KYOCERA CORP
(72) Inventor: HANO KOHEI

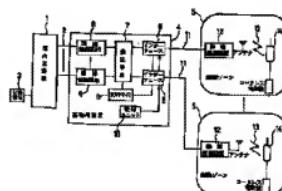
(54) PRIVATE BRANCH CODELESS TELEPHONE CONNECTION SYSTEM

processing has the extension number of the cordless telephone set 14 used in this private branch registered.

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it possible to use even a cordless telephone set brought from another office downloading an extension number in the cordless telephone set brought form outside from a base station where the extension numbers of plural cordless telephone sets to be used in a base station device private branch are registered.

SOLUTION: If an extension number or an abbreviated dial of an accomodated terminal 3, is registered in the base station device 4 it is possible to use a cordless telephone set 14 by an easy operation with these pieces of information downloaded in the cordless telephone set 14 from the base station device 4 even when another office or the like is visited. If there is an unregistered cordless telephone set 14 in a private branch, the extension number registered in the base station device 4 is downloaded by using a radio interface of the cordless telephone set 14. The cordless telephone set 14 which is unregistered by download



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-23211

(P2000-23211A)

(43)公開日 平成12年1月21日(2000.1.21)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト ⁷ (参考)
H 04 Q 3/58	101	H 04 Q 3/58	101 5K024
H 04 M 1/00		H 04 M 1/00	N 5K027
1/274			5K036
3/42		3/42	Z 5K049
H 04 Q 7/22		H 04 Q 7/04	A 5K067

審査請求 未請求 請求項の数1 O.L (全4頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平10-183933

(22)出願日 平成10年6月30日(1998.6.30)

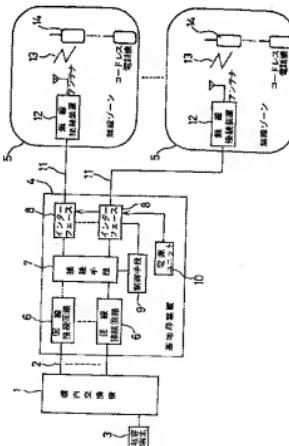
(71)出願人 000006633
 京セラ株式会社
 京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
 (72)発明者 柏野 公平
 神奈川県横浜市都筑区加賀原2丁目1番1号 京セラ株式会社横浜事業所内
 Fターム(参考) 5K024 AA01 BB04 CC11 GG05
 5K027 AA12 EE03
 5K036 AA07 DD32 DD39
 5K049 BB16 CC09 GG11
 5K067 AA34 BB04 BB08 BB44 DD14
 EE04 EE10 EE16 EE23 FF07
 HH05 HH22 HH23 HH31 JJ70

(54)【発明の名称】構内コードレス電話接続システム

(57)【要約】

【課題】構外で使用されている電話機であっても従来の電話機と同様な機能を備える。

【解決手段】本発明は構内で既に使用されているコードレス電話機の内線番号を基地局に登録されれば構外で使用されている電話機を使用するときであってもその基地局から構内で使用されている内線番号をダウンロードすることによって従来、使用されてきたコードレス電話機と同様な機能を簡単に有することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】公衆電話回線網と接続された交換機と、構内の無線通信可能領域内に存在する複数のコードレス電話機と、複数の前記コードレス電話機と無線接続可能な無線接続装置と、前記交換機と前記無線接続装置との間でやり取りされる信号の接続を制御するコードレス電話機制御機能を有する基地局とから構成された構内コードレス電話接続システムにおいて、外部に設けられた構内の基地局との間でも相互に通話を行うことができるコードレス電話機と、基地局装置構内で使用される複数のコードレス電話機の内線番号が登録されている基地局とから構成され、外部から構内に持ち込まれたコードレス電話機であってもその基地局から内線番号をダウンロードできることを特徴とする構内コードレス電話接続システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、着信リンガーベ音、短縮ダイヤルおよび電話帳等の相手端末の端末データを基地局との無線シーケンスによって手動または自動的に変更することができる構内コードレス電話接続システムに関する。

【0002】

【従来の技術】特開平9-107396号に開示されているように最近実用化が進んでいるPHS(パーソナル・ハンディホン・システム)端末は、家庭内でプライベート用として使用したり、家庭から持ち出しても事業所内の構内携帯電話機としてビジネス用に使用することができる。このようにプライベート用およびビジネス用のデータのように異なる分類の端末データが混在して登録されている場合でも目標とする端末データを迅速に検索できる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように同種のパラメータを複数用意し、ゾーン選択に応じてカテゴリを選択する方式ではパラメータの入力および更新は端末側で行なわなければならない。また、携帯端末を所持して多数のゾーンを渡り歩く場合はすべてのゾーンで使用するパラメータを携帯端末の記憶装置上に記憶しておかなければならぬ。現在では比較的大容量のデータを送信するための要件が技術的、インフラ的に整ってきている。例えば、携帯端末を所持して複数の事業者間を移動した場合、内線の短縮ダイヤルは全て入りし直さなければならぬ。また、いくつかのグループに分けて短縮ダイヤルを登録し、使用する短縮ダイヤルのグループを選択するような方式を採用した場合でも内線番号の変更が生じた場合に使用者が手動で入力をしなければならない。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明はこれらの課題を

解決するためのものであり、公衆電話回線網と接続された交換機と、構内の無線通信可能領域内に存在する複数のコードレス電話機と、複数の前記コードレス電話機と無線接続可能な無線接続装置と、前記交換機と前記無線接続装置との間でやり取りされる信号の接続を制御するコードレス電話機制御機能を有する基地局とから構成された構内コードレス電話接続システムにおいて、外部に設けられた構内の基地局との間でも相互に通話を行うことができるコードレス電話機と、基地局装置構内で使用される複数のコードレス電話機の内線番号が登録されている基地局とから構成され、外部から構内に持ち込まれたコードレス電話機であってもその基地局から内線番号をダウンロードできる構内コードレス電話接続システムを提供する。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を用いて説明する。図1は本発明の一実施例である構内コードレス電話接続システムのブロック図であり、図2は本発明の一実施例である構内コードレス電話接続システムで使用される基地局装置に登録されている内線番号が携帯端末装置にダウンロードされる場合の説明図である。

【0006】符号1は、公衆電話回線網と接続された既存のアナログ式の構内交換機(PBX)を示し、この構内交換機1はコードレス電話機制御機能を有していない。構内交換機1からは取扱端末3と接続されるための回線の他に、複数のコードレス電話機14と通話するための複数の通話回線2が出ており、複数の通話回線2には、基地局装置4内の複数の回線接続回路6の各々が接続されている。通話回路2においては、アナログ信号が送られるアナログ通信が行なわれる。

【0007】基地局装置4には通話回線2の数よりは少ない複数のインターフェース回路8が設けられており、これらのインターフェース回路8の各々には接続ケーブル11を介して同じ数の無線接続装置12が接続されている。各々複数の回線接続回路6とインターフェース回路8との間に、外線端末からの通話信号と内線端末(コードレス電話機14)からの通話信号を選択して接続する接続手段7が設けられている。

【0008】接続手段7とインターフェース回路8の各々には、接続手段7、インターフェース回路8、及び回線接続回路6の各動作をコントロールする制御手段9が接続されている。またインターフェース回路8の各々には、基地局装置4に電源供給するに接続ケーブル11を介して無線接続装置12に電源供給する。

【0009】次にこのような構成にもとづいて動作説明を行う。構内交換機1に接続された取扱端末3には複数の電話機が設けられ、この電話機を識別するための内線電話番号が付与されている。また、この構内交換機1に接続された基地局装置4にこれらの中継番号を登録す

る。ここで、コードレス電話機1・4が図1で示された構内と異なる他の構内から持ってきたとすればこのコードレス電話機1・4は図1で示された構内では初めて使用されるためにこの構内に設置されている収容端末3の内線番号は記録されていない。したがって、このコードレス電話機1・4が収容端末3と通話を行なうためには相手の内線番号を入力しなければならない。

【0010】そこで、本発明は、予め基地局装置4に収容端末3も内線番号もしくは短縮ダイヤルが登録されていれば、これらの情報を基地局装置4からダウンロードすれば他の事業所等に登録したときでも従来と同様に簡単な操作によって使うことができる特徴とする。

【0011】図1および図2にもとづいて動作説明を行う。図2において、図1と同一部は同一符号を付与している。1・5は内線番号等が記憶される記憶装置、1・7は基地局装置4とのデータの送受信を行うための無線インターフェース、1・8は中央制御部、1・9は記憶装置1・5に登録される電話帳である。この構内で稼働している複数のコードレス電話機1・4の内線番号が基地局装置4に登録されている。ここで、未登録のコードレス電話機1・4があるとすれば基地局装置4に登録されている内線番号が無線インターフェース1・7を用いてダウンロードされる。

【0012】このダウンロードの処理によって未登録であったコードレス電話機1・4にはこの構内で使用されているコードレス電話機1・4の内線番号が登録されたこと

によって電話をかけるたびにペーパーの電話帳で相手先内線番号を調べることなく一台のコードレス電話機1・4だけでその構内で稼働しているコードレス電話機1・4と簡単に電話をかけることができる。

【0013】

【発明の効果】以上のとおり、本発明は構内にて既に使用されているコードレス電話機の内線番号が登録されている基地局から構外で使用されているコードレス電話機にダウンロードすることができるので、他の事業所に出張したときに持参したコードレス電話機であっても従来、そこで使用してきたコードレス電話機と同様な機能を有することができる。

【図面の簡単な説明】

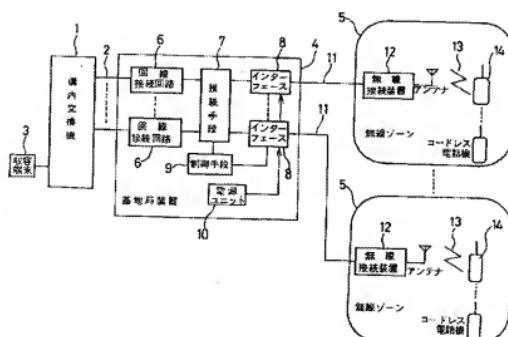
【図1】 本発明の一実施例である構内コードレス電話接続システムのブロック図である。

【図2】 本発明の一実施例である構内コードレス電話接続システムで使用される基地局装置に登録されている内線番号が携帯端末装置にダウンロードされる場合の説明図である。。

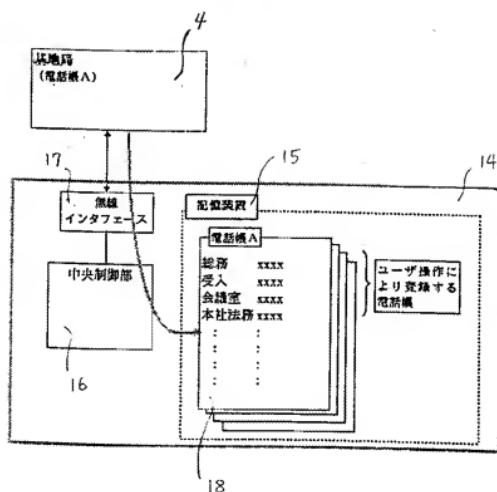
【20 符号の説明】

- 1 構内交換機
- 2 通話中線
- 3 収容端末
- 4 コードレス電話機
- 5 回線接続回路
- 6 基地局装置
- 7 指揮回路
- 8 無線インターフェース
- 9 制御手段
- 10 電話帳
- 11 フレーム
- 12 記憶装置
- 13 アンテナ
- 14 コードレス電話機

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(51) Int.Cl. 7

H 04 Q 7/24

7/26

7/30

識別記号

F I

テ-レ-オ-ド (参考)